

vol. 10 GOVERNOR'S

Monthly Letter

Rotary International District 2600

2013-2014 月信 2014.4.1

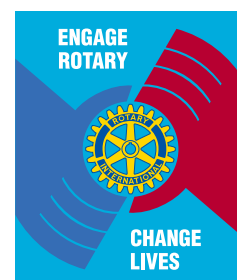


岡谷市近代化産業遺産「成田公園」

国際ロータリー第 2600 地区

- R I 会長 / ロン D. パートン (ノーマン RC)
- R I 理事 / 松宮 剛 (茅ヶ崎湘南 RC)、北 清治 (浦和東 RC)
- ガバナー / 宮坂有洪 (岡谷 RC)

〒394-0027 長野県岡谷市中央町 1-4-12
TEL : 0266-78-8092 FAX : 0266-78-8093
E-mail : miyasaka-g@bz04.plala.or.jp
URL : <http://www.rid2600jp.com>



ロータリーを実践し
みんなに豊かな人生を

雑誌月間に寄せて



国際ロータリー第2600地区 2013-2014年度

ガバナー

みやさか ゆうこう
宮坂 宥洪

今月は雑誌月間です。最新の『2013年 手続要覧』には「特別月間・週間」という章が設けられていて、その中で「雑誌月間 (MAGAZINE MONTH)」について、「毎年4月、クラブ会員は、ロータリーの地域雑誌または『ザ・ロータリアン』誌を推薦する。また、プロジェクトのアイディア、新会員の勧誘、ロータリーの情熱の喚起のためにこれらのリソースをどう利用できるかについて話し合う」と記されています。

国際ロータリー細則 (20.030.1) には「会員は、RIの機関雑誌またはRIの理事会が承認し、当該クラブに対して指定したロータリーの雑誌の有料購読者とならなければならない」と定められています。つまり、日本の場合は、『ロータリーの友』を講読することが会員の義務とされているわけです。当然、購読料も義務として全会員が納めているわけですから、そのことを念頭にぜひしっかりと目を通していただきたいと思います。

ところで、2013年規定審議会において、制定案13-119として「印刷されたロータリー雑誌を受け取るか、インターネットを通じて受信するかを選択肢を、米国およびカナダ以外の国のクラブに与える件」が採択されて、国際ロータリー細則 (20.030.1) も改正されることになり、「各会員は、郵送で送られる印刷版か、インターネットを通じた電子版のいずれかを選択肢を選べるものとする」という一文が付け加えられました。

これを受けて、日本の『ロータリーの友』はデジタルブックとして、昨年10月号の見本に続き、本年1月号よりウェブ上で「ロータリーの友 電子版」を公開しています。

今のところ、無料で公開されていますが、これは初めからウェブ用に作られたものではなく、従来通り印刷版として作られた雑誌をデジタルブック化したものです。

今後、電子版を読むために各会員がアクセス・アカウントをもつように設定することはそれほどむずかしいことではないでしょうが、日本全国の各会員がそれぞれに、郵送で送られる印刷版か、インターネットを通じた電子版のいずれかを選択肢を選べるようにする、ということの実現には、相当面倒な作業が必要になると懸念します。

クラブ内のある会員は、印刷版がほしい、ある会員は、電子版を読むから印刷版はいらない、ある会員は両方とも必要、という仕分けを誰がするのかということです。実際問題として、今のところ、電子版は、誰でも(会員以外の人でも)無料で読めるのです。

世界200ヶ国の中には印刷という高度な技術がほとんどない国もあって、たとえあっても、印刷物のスムーズな配布は困難という国がたくさんあります。

ロシアやアフリカにもロータリークラブがあります。(ちなみに、ロシアにもロータリークラブがあるというのはすごいと思いませんか。冷戦時代、アメリカと敵対していた旧ソ連に、現にあるのです。今のところ、ロシア一国で一つの地区ですから、その範囲はとてつもなく広いわけです。公式訪問は、1つのクラブに行くのに何日もかかることがあるとか、大変だけれど、とても楽しいと、国際協議会で快活に語っていた同期のガバナーの話が忘れられません。)

こうしたロシアやアフリカなどの地区の範囲は日本列島の何倍にも及ぶ広さです。そういうところで印刷物の郵便は数週間もかかる場合もあるし、届かないことも多々ありますが、インターネットを利用すれば、確実に一瞬です。だから、必要なのです。

そういうところと日本を一緒にする必要は、まったくありませんね。

Dr. J. H. Kim

武井 哲夫 (長野 RC)

スナップ写真やカウンセラーのコメントを入れることでより奨学生が身近に感じられ、ロータリアンが物心両面からサポートしている奨学生たちが、日本と世界の架け橋となって国際社会で活躍されロータリー運動の良き理解者、人材となることを願うこの事業の使命をあらためてご理解いただく上でもこの冊子が役立つことを願ってやみません。

ここで改めて発行にあたりご理解、ご協力いただいた各クラブのみなさまのご尽力に感謝申し上げます。



2013学年度 米山奨学生歓送会報告



国際ロータリー第2600地区 2013-2014年度

米山奨学委員会 奨学生・学友委員

なが た つかさ
長田 司 (諏訪 RC)

2013年度米山奨学生歓送会が、3月9日(日)に岡谷市「ホテル岡谷」において開催されました。

出席者は宮坂宥洪ガバナー、三井章義米山奨学会常務理事、後藤晃地区米山奨学委員会委員長、中川博司ガバナーエレクト、柳澤光臣青少年奉仕委員会委員長、米山奨学終了生、継続生が合わせて10名、カウンセラー等8名、計40名の方々の出席でした。

奨学生には終了証、カウンセラーの方々には感謝状の授与がそれぞれ行われます。授与後、終了生からの自己紹介、お礼、各カウンセラーの皆様からの挨拶と続きますが、毎回思いますのは、もちろん奨学生も立派な挨拶が続きますがカウンセラーの皆様のホッとした様な表情と親心とも思える様な奨学生に対する温かい言葉に大変感心し、ロータリアンは素晴らしいなと思います。

この後は「米山学友総会」を開催し、金 晃屋米山学友会会長の進行により24年度の決算、25年度の事業計画等第一号議案から第三号議案迄が承認されました。この学友会は海外では台湾、韓国、中国、タイにあり、昨年10年にはネパールにでき、モンゴル

にもそのような動きがあるようです。懇親昼食会は別途場所を移動し行いました。昼食会ともなれば奨学生も午前中の式の緊張感もとれ、改めてのスピーチにもカウンセラー、クラブとの思い出話等も聞かれ、大変和やかなひと時を過ごす事が出来ました。

終了後の進路は、更に上を目指し、他大学の大学院に進む、又は日本企業に就職が決定した奨学生もいました。その中にはロータリー会員の会社に就職が決定した学生もいます。皆さん様に母国と日本の掛け橋になればという言葉も聞かれ、いつの日かその様な事が一人一人実現されれば米山奨学金の思いも益々実現されるようになり、又そう願うものです。グローバル化が進み、海外との問題はこれからも益々複雑に絡み合う時代になるかと思いますが、この様なロータリークラブ独特の制度で留学生を受け入れる事は、今後もっと重要な役割を担えるような事にも思われます。

選考会、歓迎会、オリエンテーション等毎回設定に尽力されている地区幹事、副幹事、事務局の皆様には感謝申し上げます。



2013学年度 米山奨学生歓送会 平成26年3月2日 於 岡谷市 ホテル岡谷

(世話クラブ あづみ野RC)

【岡谷市民新聞 2014年3月10日 掲載記事】

第2回次期地区チーム研修セミナー PETS及び地区研修・協議会のための地区指導者打合せ会 報告



中川博司ガバナーエレクト事務所 次期地区幹事

ふじさわ ひでたか
藤澤 秀敬 (伊那RC)

2月15日は記録的な大雪のため第2回次期地区チーム研修セミナーは延期となり、2月22日にPET及び地区研修・協議会のための地区指導者打合せ会と併せて、マリエール伊那において開催されました。出席者はガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、次期地区研修リーダー、研修委員、次期カウンセラー、次期ガバナー補佐、次期委員長、委員の皆様です。ガバナーからご挨拶と地区チーム研修セミナーの意義、第2600地区の現状と戦略計画に対する取り組み、そして本日の研修が有意義なものとなるようにとのお話があり、次期地区研修リーダーの綿貫隆夫様より当地区における研修の流れ、ガバナー補佐の役割、地区委員長の役割、特にロータリークラブ・セントラルの活用についてお話を頂きました。

中川博司ガバナーエレクトよりRIテーマ及び地区方針について米国サンディエゴの国際協議会の報告を含めて説明がなされました。ゲイリー C.K. ホアンRI次期会長のRIテーマ「ロータリーに輝きを (Light up Rotary)」とRI会長強調事項について解説され、“明日のために今こそ行動を”と第2600地区の方針及び

行動目標についてお話がありました。

地区指名委員都筑文男様よりガバナーノミニの望月宗敬様の紹介があり、望月ノミニのご挨拶を頂きました。4月6日予定の地区研修・協議会ホスト飯田南ロータリークラブ久保田秀文実行委員長の経過及び準備状況のご挨拶、エレクト事務所から委員長に資料作成の依頼などが行われました。

昼食を挟み午後はガバナー補佐部会、各委員会部会に分かれガバナー、ガバナーエレクト、次期カウンセラー、次期委員長をリーダーとして第1セッションでは委員会の役割について、第2セッションでは次期RI会長のメッセージ、ガバナーエレクトの地区方針をもとに各委員会の計画について話し合いが行われました。地区RLI委員の皆様のサポートもいただき会議は進められ、後の全体会議で各委員会の発表が行われました。次期地区研修委員の堀川浩様より本日の研修は充実した内容であった旨のご講評を頂き、中川ガバナーエレクトより参加された皆様にお礼と今後一層のご協力をとのご挨拶がなされ終了致しました。



下伊那グループ IM・会員セミナー報告



国際ロータリー第2600地区 2013-2014年度

下伊那グループガバナー補佐

みやじま いつお
宮嶋 逸雄 (飯田東RC)

3月9日、飯田東ロータリークラブがホストとなり、シルクホテルでIM・会員セミナーを開催しました。

今回のIMは例年と異なり、宮坂ガバナーのご意向を踏まえ、ガバナーには主催者側で、共にIMを遂行していただくことにいたしました。

今回のテーマは、RIテーマ「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」で実施いたしました。

記念講演では、前宮内庁長官で昭和館館長の羽田信吾氏の「天皇・皇后陛下にお仕えして」と題して、平成17年から7年余り宮内庁長官として、天皇皇后両陛下にお仕えした時の思い出やエピソードについて語っていただきました。

その中で、「東日本大震災1周年の追悼行事に、心臓の手術を受け、まだ退院して1週間しか経っていませんでしたが、絶対に行くと言われました。その使命感と生真面目な性格で、象徴天皇としてのお勤めを、実践によって尽くしたいというご覚悟を知ることがありました。」と振り返られました。

会員セミナーでは、パストガバナーである横田盛廣氏による「職業奉仕とこれからの国際奉仕のあり方」について講演がありました。

職業奉仕とは、ロータリークラブの根幹をなすものであり、また今年度から実施されている財団「未来の夢計画」に伴う国際奉仕のあり方についてお話いただき、RIテーマに沿った講演でありました。また、今回ホストを務めた飯田東ロータリークラブが、水資源保護のための植樹活動からの間伐材をロータリー財団の新地区補助金等を活用し、コカリナを制作。出来上がったコカリナ50本を下伊那農業高校インターアクトクラブに2月8日に寄贈しました。

同校インターアクトクラブは、この日の発表のため全体練習を行ってきました。この日は同校の校長先生以下約30人が、「キラキラ星」「エーデルワイス」「ふるさと」「かっこう」の4曲を披露しました。

ロータリアンとして有意義なひと時を過ごすことができました。



宮坂年度 RLI Part3 開催報告



国際ロータリー第2600地区 2013-2014年度

RLI 委員会 委員長

ほりかわ ひろし
堀川 浩 (塩尻RC)



日時：2014年3月8日 土曜日

会場：塩尻市市民交流センター えんぱーく

参加者：中川博司ガバナーエレクト	1名	
参加会員	41名	
RLI ディスカッションリーダー	4名	
RLI 委員会	4名	
ボランティア	1名	計 51名

カリキュラム

- 第1セッション：効果的なリーダーシップの戦略
- 第2セッション：ロータリーの機会
- 第3セッション：公共イメージと広報
- 第4セッション：ロータリアン、職業奉仕と可能性
- 第5セッション：規定審議会
- 第6セッション：変化をもたらす

ディスカッションリーダー

- 作田永子
- 藤森康友
- 藤田恭一、丸野幸子
- 上島孝雄
- 藤松尚之
- 関 守昌

RLI本部発行の20周年記念版(最新版)に基づいてカリキュラムを構成したが、Part2で取り上げるべき国際奉仕が抜けているので、全セッションで「国際奉仕とは」という話題を加えた。

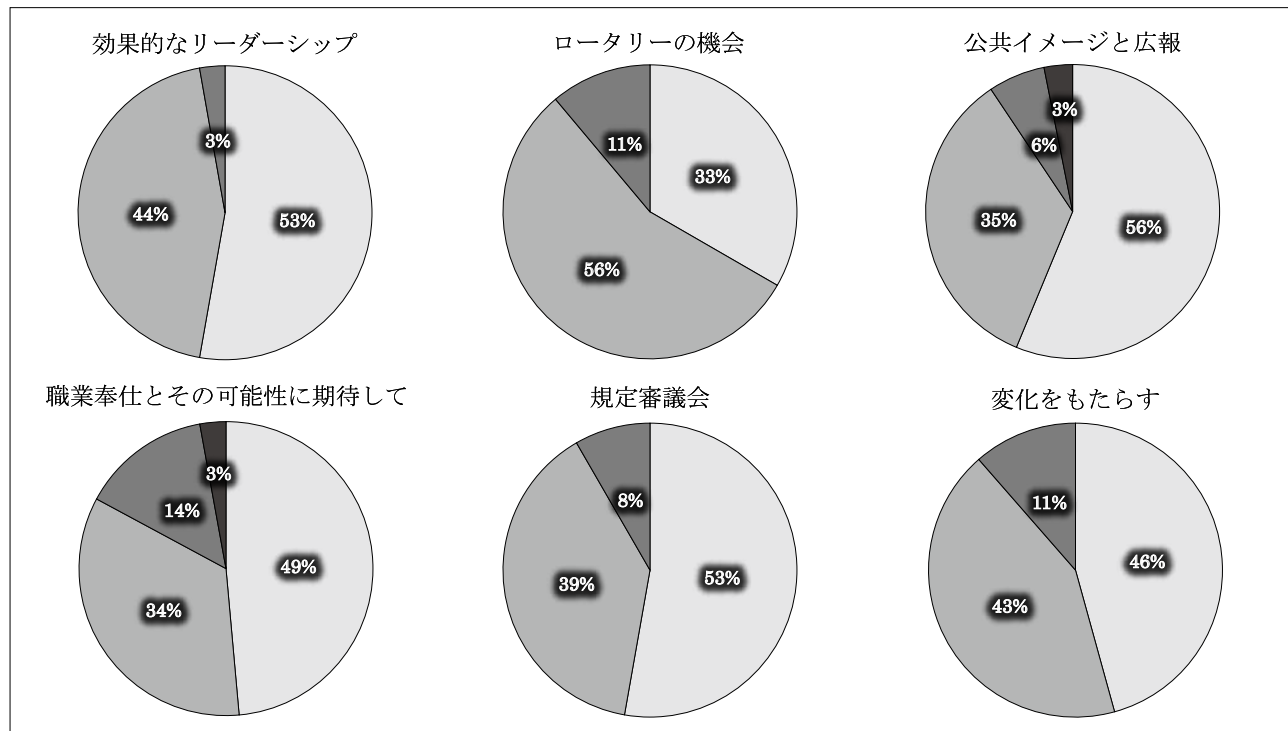
PartⅢ終了後の卒業コースの案内とともに、成人学習者への研修手法につきオープニングとクロージング本会議において説明を加えた。卒業コースは、予定通り5月24日同じ会場で開催。

評価表集計 (次ページに表を掲載)

設問1：PartⅢに参加してカリキュラムの内容は理解できたと思いますか。

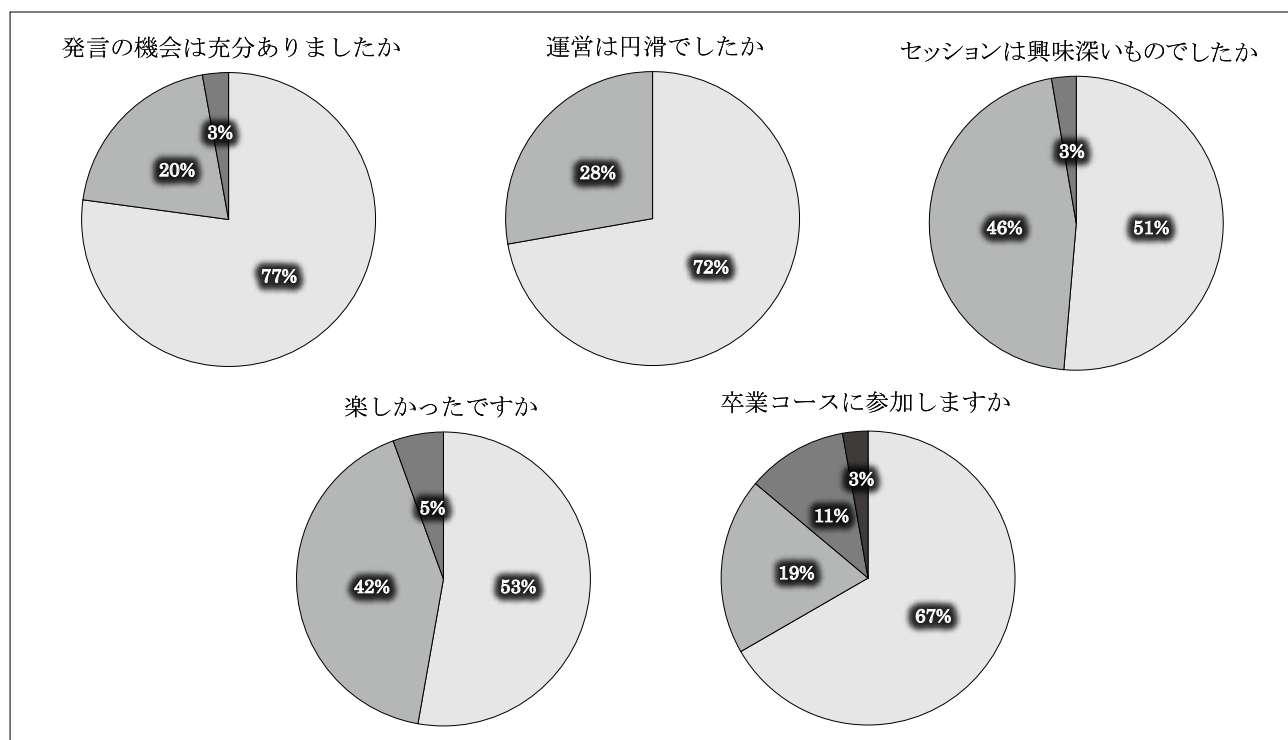
- 理解出来たと思うとの評価が85%以上ではあるが、あまり思わない、思わないとの意見もある。これは決して悪いことではなく、復習することにより75%以上の理解につながると考えられる。
- RI常設のプログラム「ロータリーの機会」はインターアクト、ローターアクト、ライラを除くとかなり温度差が感じられる。この状態はロータリー財団プログラムの「ロータリー平和センター」とともに当地区の地域的条件も影響している。
- 規定審議会のセッションで90%以上の理解が得られたのは予想以上の成果と言える。
- 「ロータリアン、職業奉仕とその可能性を期待して」のセッションは、職業分類と言う考え方が希薄になって居る現実を如実に表している。会員増強と職業奉仕の相互関係の議論には到達していない。
- 公共的イメージの向上と広報は、ロータリアンが誇りをもって奉仕活動を展開する入り口の話で目下のところ終わっている。自分たちが将来のロータリーのために如何にあるべきか、これからの議論に待ちたい。

設問1：Part IIIに参加してカリキュラムの内容は理解できたと思いますか。 □ 思う □ 多少思う □ あまり思わない □ 思わない



設問2：運営、会場、準備状況への感想を聞かせて下さい。

□ 思う □ 多少思う □ あまり思わない □ 思わない



日本人の宗教(2)

宮坂 宥洪

よく日本人は宗教心が薄い、あるいは信仰心を持たない人が多いということが各種の統計調査で示されて問題視されますが、これは質問の仕方によります。例えば、「あなたは信仰を持っていますか」という質問に対して、「持っている」と答える日本人はせいぜい2割程度。アメリカで同じ調査をしたら9割以上が「持っている」と答えるそうです。でも、それがどうしたというのでしょうか。何の意味もない統計だと思います。質問の仕方を変えれば、結果は逆転します。

例その1。わが国では毎年8月15日に政府主催の全国戦没者追悼式が行われています。戦没者を追悼する行事はほとんどの国々で行われていますが、どこか本質的に違うものがあります。それは何かお気づきでしょうか。

アメリカのワシントン郊外にあるアーリントン国立墓地では、年2回、毎年5月の最終月曜日と11月11日に追悼式典が開かれています。前者は南北戦争後の1869年に最初の戦没者記念祭を行った日であり、後者は第一次世界大戦の休戦記念日です。

1918年11月11日、ドイツとアメリカ合衆国が停戦協定に調印し、4年あまり続いた第一次世界大戦が終結しました。この日は要するに連合国の戦勝記念日なのです。当然、敗戦国であるドイツにとっては何の関係もない日です。ここが日本と違うところです。

世界中で自国の礎となった戦没者を追悼する行事は大概の国で行われていますが、それは戦没者の顕彰と自国の守りを確認する誇り高いハレの儀式なのです。毎年8月15日に日本は何をしているか。この日は「敗戦」の日です。敗戦を記念して、追悼行事をしている国は、世界のどこにもありません。

日本の8月15日の戦没者追悼式だけが、全世界で唯一、悲しみの「宗教的な行事」なのです。他国はす

べて「戦勝」もしくは「独立」を記念した、国威発揚のための、犠牲となった戦死者を称える儀式なのです。

例その2。モーツァルト生誕250周年のように、生誕祭を祝うのが世界では普通です。そもそも、いわゆる西暦というのが、イエス・キリスト生誕より数えた年(=周年)です。

日本では生誕祭は一般的ではありません。祖先の年回忌のように、生ではなく死を、祭事の起点とするのが日本では普通です。年回忌等は紛れもなく宗教行事ですが、諸外国の生誕祭は宗教行事とは言えません。でも、なぜでしょう。

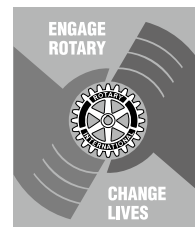
キリスト教では、神以外の者を拝んでも崇めてもならないというのがモーゼ以来の伝統ですから、どんな偉大な人でも、神のように祀って尊崇されることは許されません。生前の功績を称えることだけが許されるので、生誕祭というかたちで「祝う」ことしかできないのです。

そういうわけですから、日本の基準からすると、諸外国の人々は死者の慰霊という点では驚くほどに無頓着だと言わざるをえません。

日本人の宗教の根底にあるものは、死者に対する畏れと尊崇の念です。それは人間に限りません。高野山の奥の院の参道には、「しろあり」と刻した石塚があります。全国のシロアリ駆除業者が建てたものです。こんなことをする国がどこにあるでしょう。

針供養、箸供養、筆供養、人形供養、はさみ供養、時計供養、ペット供養、敵味方供養。このどの一つでも行ったことがあるかどうかと、全世界の人々に宗教意識調査をしてみたら如何。

このように質問の仕方を変えれば、日本人の宗教心は目を見張るものになるはずです。



ロータリー財団(新)地区補助金活動の紹介

ロータリー財団委員会 Secretary 小口 泰史

今月は4クラブのプロジェクト活動報告を掲載いたします。

■戸倉上山田ロータリークラブ

《高校生による介護用ねまき製作支援プロジェクト》

屋代南高等学校ライフデザイン科ファッションデザインコースの生徒は30年ほど前より社会福祉協議会を通じて、介護用のねまきを製作し贈呈してきました。

製作用のミシンの老朽化に伴い、高校からの要望に応え10台ミシンを贈呈した。これにより、生徒たちの学習意欲・技術習得の向上、製作された介護用ねまきの品質向上が図られるようになりました。

IM・会員セミナーにて活動報告を行い、生徒たちは「介護用ねまきのニーズ、及び用途も変化してきているのでより機能的なねまきの製作ができるように努力を重ねていきたい」と感謝の言葉を述べていました。

■諏訪ロータリークラブ

《学童が読書に興味を持ち、学習意欲の向上につながる教育支援事業》

諏訪市内の小、中学校全11校に対して朝読書、読み聞かせ活動をより充実させるために図書を贈呈した。

平成25年11月24日に全校を代表して諏訪市豊田小学校にて、クラブ会員20名および、市内各学校長、学校司書が参加して贈呈式が行われました。その後、読み聞かせ活動への参加・読書指導の授業参観等を行い後日クラブ例会時に豊田小学校の矢崎教頭先生に卓話をお願いしました。

贈呈式の記事が市民新聞・長野日報に報道されました。

■塩尻ロータリークラブ

《視覚障害者のために情報伝達機材を整え、CDの搬送を支援する事業》

1984年より「塩尻朗読ボランティアグループ」が、広報並びに新聞記事等を朗読しカセットテープに録音して視覚障害者に最新の情報提供活動を行ってきました。

塩尻ロータリークラブは、近年CDへと主流が移っており機材の必要性が急務との要望を受けて、CDダビング機、録音図書郵送用パッケージをボランティアグループに寄贈した。

現在20名ほどの方が恩恵を受けていますが、当クラブでは会員が視覚障害者体験を行い新たなRC活動として今後はより多くの視覚障害者に提供できる態勢づくりの必要性を実感した。

活動状況が、信濃毎日新聞・市民タイムス・タウン情報に掲載されました。

■上田西ロータリークラブ

《郷土の偉人・赤松小三郎を後世に伝える事業》

郷土である上田が生んだ近代日本の先覚者、赤松小三郎を顕彰するために、分かりやすいパンフレットを1万5千部作成し、赤松小三郎の偉大な功績を知ると同時に、学問をすることの大切さの理解を深めてほしいと、クラブ会員が市内の小学校・中学校・高等学校まで出向きパンフレット贈呈時に、赤松小三郎の功績を生徒に説明した。

32名のクラブ会員はパンフレット製作の原稿づくり、構成等に参加しました。

国際ロータリー第2600地区の各クラブにも配布してありますので、ご一読ください。

ローターアクトクラブ 海外研修(台湾)のご報告



国際ロータリー第2600地区 2013-2014年度

地区ローターアクト会計(兼 海外研修担当)

やざわ しんすけ
矢澤 慎介 (伊那RAC)

2014年1月11日(土)～13日(月・祝)の3日間、ローターアクトクラブ(以下、RAC)では、台湾にて海外研修を実施いたしました。参加人数は合計23名(RC2名、RAC21名)、交流クラブは第3480地区 台北東海RACです。日本以外で、日本語を公用語とする世界初のRACになります。各メンバーの日本語のレベルは非常に高く、言葉の壁を意識することなく親睦を深めることができました。

RACの海外研修は、3年ぶりとなります。2度の被災地研修を経て、東日本大震災時に最も積極的に日本を支援してくれた国は台湾という事を学び、現地RACと交流、共同での社会奉仕を通じて、感謝の気持ちを伝えられる研修にしたいと計画、実施しました。

研修1日目は、台湾へ入国後、夕方より台北東海RCおよびRACの皆様との懇親会を実施。お互いの地区の活動紹介、バナー、お土産交換式を行いました。当地区からは、被災した大漁旗から作成された「大漁旗プレスレット」を渡しました。復興支援の一助となればと、フリーマーケットで得た収益にて購入した物です。その後は交流、エンディングでは復興支援ソング「花は咲く」を参加者全員で合唱しました。この合唱は台北東海RACからの提案であり、今回の我々の訪問の目的を理解していただけたことに変々嬉しく思いました。

2日目は、台北市内にある「象山」という山にて、2グループに分かれて清掃活動を行いました。頂上までの歩道は整備されており、一見するとゴミは落ちていないように見えても、目を凝らすと多くのゴミを発見できました。途中、急な傾斜で大変な所があったものの、台北東海RACのメンバーと楽しく交流、協力しながら奉仕活動を行いました。現地の方とすれ違う際には、「日本人?ありがとう~!!」と多くの方が声を掛けていただき、台湾と日本が友好関係にあることを、身をもって感じる事ができました。

3日目は、世界4大博物館の1つと称される、「故宮博物院」を訪問しました。中国歴代に渡る優れた文化財の数々を間近で見ることができました。その後は帰国、全員無事に研修を終えることができました。

参加者からは、「奉仕活動も交流も充実し、貴重な経験となった」「視野が広がった」「海外の同年代の仲間と交流し、刺激を受けた」などの感想があり、今後の社会人、アクターとしての成長の糧を得ることができました。また、世界中に仲間が居るというアクトの素晴らしさを再認識できました。今回の研修を通して築くことができた台北東海RACとの絆を、今後も大切にしていきたいと思えます。

末筆になりましたが、台北東海RCおよびRACの皆様、宮坂ガバナーをはじめ2600地区内のロータリアンの皆様、研修参加者、家族などのご協力の上に今回の海外研修が実施できた事を感謝申し上げます。ありがとうございました。



New Generations ニュース))) 【青少年奉仕委員会】



インターアクトクラブ活動報告 伊那西高等学校 インターアクトクラブ

私たち伊那西高等学校IACは、1997年に伊那中央RCを提唱RCとして発足し、2014年で18年目を迎えます。平日は主に、手話学習や保育園・老人ホーム訪問ボランティアの準備を行っています。休日には保育園や老人ホーム、障がい者福祉施設を訪問し、利用者の方々との交流をしたり、地域のイベントにスタッフとして参加したり、体験学習なども行っています。

今年度は、2003年に伊那中央RCのご支援のもと始めた「信州大学留学生との交流会」を見直し、より留学生の皆さんとの距離が近づくよう計画し、実施しました。その結果、IA生と留学生の皆さんとの積極的な交流が見られ、外国について知るだけでなく、私たちの母国である日本を見つめ直すことができました。

伊那西高等学校は2014年度で30周年を迎えます。私たちIACも、これまでの伝統を守りつつ、新たな活動を模索し、行っていききたいと思います。

校 名 伊那西高等学校
ク ラ ブ 名 伊那西高等学校インターアクトクラブ
提唱クラブ名 伊那中央ロータリークラブ



信州大学留学生との交流会



乳児健診



文化祭での手話発表



招待行事「ワカサギ釣りIN野尻湖」

長野東ローターアクトクラブ 会長 中原 香緒里

当クラブでは1/25、26に招待行事「ワカサギ釣りIN野尻湖」を行いました。

今回は、過去に当クラブの先輩方も行ったという屋形船でのワカサギ釣りを通して他クラブの方達と親睦を深めようと、準備を進めてまいりました。

当日は野尻湖に8:15集合という早朝からのスケジュールの中、他地区から2名、OB・一般参加者3名を含む13名の方にご参加をいただきました。

参加者のほとんどがワカサギ釣り初体験という事で、釣り船の方にご指導をいただきました。リールの巻き方、針の付け方、えさの付け方など慣れない作業に悪戦苦闘しながら、9:30を過ぎたところでようやく、だいたいの参加者が釣り糸を湖に垂らすことができました。釣り経験者のクラブ員が、初心者の方の面倒をみたり、釣った魚が針から外せず助け合ったり、非常に和気藹々と6時間程度の船内での釣りを楽しみました。この時期の野尻湖のワカサギ釣りは少し難しいそうで、なかなか釣果は奮いませんでしたが、その分船上での時間をのんびりと過ごせたように思います。

釣りの後は宿での夕食にて、釣ったばかりのワカサギを天ぷらにさせていただきました。揚げたてのワカサギは臭みが全くなく、ふわふわの食感で、皆で舌鼓を打ちました。

また、夕食後には親睦会を行いました。活動や個人の悩みを打ち明けあったり、トランプゲームをして盛り上がりたりと、思い思いに話に花が咲き、こちらも非常に貴重なひとときでありました。

今回の招待行事では、クラブだけにとどまらず、地区をも越えた交流ができたことがとてもよかったと思います。また、ひとつの行事を目指して皆で取り組むことで、クラブ員の個々の得意分野を知ることができ、人数は少ないけれどよいメンバーに恵まれていると感じました。今後も個々の能力を生かし、それぞれの成長を目指して楽しみながら活動していきたいと思えた、今回の招待行事でした。





ハイライトよねやま 168

モンゴルに海外6番目の米山学友会が誕生！

海外6番目となる米山学友会がモンゴルで設立されました。3月1日にウランバートル市内で開催された創立記念祝賀会には、学友24人、日本からロータリアン9人のほか、元駐日モンゴル大使や在モンゴル日本国大使館一等書記官、フレールRC会長など来賓を含む40人以上が参加。創立会員34人の中から、初代会長にジャンチブ・ガルバドラッハさん(1998-99/山形北RC/現在フレールRC会員)、副会長にバルジンニヤム・バトゾリグさん(2007-08/津久井中央RC)、ほか5人の役員が選任されました。ジャンチブ会長は「長年の夢をようやく実現することができた。日本のロータリアンが育ててくれた学友たちの力を結集し、皆で頑張って活動していきたい」と、抱負を語りました。また同日、モンゴル国各省庁から表彰状および感謝状が当会理事長をはじめ、関係ロータリアンに贈られました。当日は地元メディアの取材もあり、ニュースなどで報道されました。

今月のトピックス

1. 寄付金速報 — 下半期の寄付状況 —
2. モンゴルに海外6番目の米山学友会が誕生！
3. 新地区補助金によるベトナム奉仕活動に米山学友が協力
4. 17年ぶりの再会に感激 — スレス・ダス・シュレスタさん —

▶全文は、こちらよりご覧ください。 http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight168_pdf.pdf

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

ロータリー財団・米山記念奨学金への寄付 ご厚意に深く感謝申し上げます。

■ MPHF 2回
(マルチブル・ボール・ハリス・フェロー)



佐久コスモスRC
あらい おさふみ
荒井 長文

■ MPHF 1回
(マルチブル・ボール・ハリス・フェロー)



須坂五岳RC
なかじま けさじ
中嶋 袈裟二

■ 米山功労者 1回



長野北東RC
かとう まこと
加藤 誠

■ 米山功労者 1回



長野北東RC
つかだ こうじ
塚田 浩二

■ メジャードナーレベル1
(大口寄付者 累計15,000ドル)

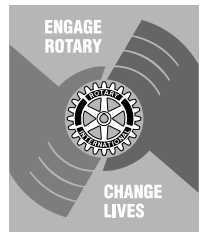


あづみ野RC
まるやま たかし
丸山 隆

■ MPHF 1回
(マルチブル・ボール・ハリス・フェロー)



白馬RC
いしだ ひろゆき
石田 弘行



米山、財団寄付・新会員紹介

■ PHF
(ポール・ハリス・フェロー)



岡谷RC
さえ き かつ み
佐伯 克己

■ MPH 1 回
(マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



伊那RC
さかい きよひこ
坂井 清彦

■ MPH 2 回
(マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



伊那RC
みやした かねとし
宮下 金俊

■ 米山功労者 2 回



飯田南RC
はら つとむ
原 勉

■月信表紙「成田公園」 (岡谷市近代化産業遺産)

大正6年、昭和天皇の立太子の記念に造られる。製糸工場の従業員の慰安の地としても多くの工女さんに利用された。製糸業発展に大きく貢献した第十九銀行頭取黒沢鷹次郎の銅像がある。かつての製糸全盛の工場地帯に思いを馳せることができる。

新入会員のご紹介

よろしくお願いします。



小諸RC
たか ぎ とし や
高木 暁也



上田東RC
さかぐち りょうへい
坂口 良平



長野RC
ひろ た とよ き
廣田 豊紀



長野西RC
にしざわ とおる
西沢 徹



長野北東RC
まつもと けんいち
松本 研一



松本RC
うえはら いさお
上原 功

■ PHF
(ポール・ハリス・フェロー)



長野東RC
すず き めい じ
鈴木 明治

■月信第9号14頁 訂正

☆第9号(月信3月号)14頁、鈴木明治会員が新入会員になっていました。正しくは財団寄付(PHF)です。訂正してお詫言いたします。



岡谷市近代化産業遺産

4

成田公園

～工女さんたちの憩いの公園～

◆楽しい休日

大正6年に昭和天皇の立太子記念に造られた公園。製糸工場の従業員にとって休日に公園で過ごすとはとても楽しい時間であった。また製糸工場対抗の大運動会が中谷原頭(やまびこ公園の辺り)で盛大に開催されるなどお楽しみ行事もあった。

◆黒煙を吐く煙突と

白壁の繭倉庫
ここからは市街地が一望できる。製糸業が隆盛を極めた昭和初年には105棟の繭倉庫が空る所に建てられた。白壁土蔵造りの5層、6層の優美な繭倉庫と黒煙を吹き上げる千本の煙突は「シルク岡谷」の発展の象徴であった。

◆金融界の常識破り黒澤鷹次郎
第十九銀行(八十二銀行の前身)の頭取であった黒沢鷹次郎は、これまで金融界では不動産担保による融資が常識であったが、動産(原料繭)の担保による融資を行い、資金繰りに苦しむ製糸経営者を支援した。



成田公園から見た岡谷

あるき太郎



© 岡谷市・イラスト：黒澤

○ 岡 谷 市

岡谷市内にはこのような看板が立てられています

製糸のまちを歩こう

訃報

岡谷ロータリークラブ

おぐち てつお
小口 哲男

蚕種製造

享年九十歳

平成二十六年二月十八日

ご逝去されました

訃報

諏訪ロータリークラブ

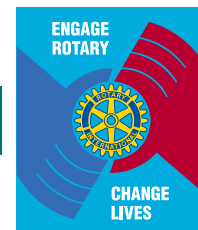
やすかわ ひであき
安川 英昭

情報機器製造

享年八十二歳

平成二十六年二月二十五日

ご逝去されました



() は女性会員

文庫通信

318号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の資料から

魅力的なクラブ創り

北 清治 2013 9p (D.2780地区大会報告書)

『ロータリーに魅せられて』ロータリーは新会員とともに

坂本俊雄 2014 10p (D.2710地区大会特集号)

変わりつつあるロータリー

江崎柳節 2013 7p (D.2800地区大会記念誌)

『ロータリーの目的』とRI戦略計画

南園義一 2013 8p (D.2700地区大会の記録)

国際ロータリーの動向とロータリー財団

三木 明 2013 5p (第35回青少年指導者育成セミナー報告書)

過去を内省し、新しきものを統合していこう

ーロータリー創立100周年後の歩みで感じたこと

黒田正宏 2013 51p

ポリオが地球から消える日『世界の子どもたちとの約束を果たそう』

北山輝夫 2013 2p (D.2830地区大会記録誌)

ポリオとの戦いー根絶間近のインドから

ロケシュ・グプタ 2013 5p (D.2830地区大会記録誌)

トルコの識字プロジェクト支援／ロータリーへの目覚め

重田政信/清 草司 D.2840 2013 1p (私のロータリーモメント)

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL 03-3433-6456 FAX 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

～ガバナー事務所より～

■地区ホームページについて

☆2600地区のホームページは地区クラブの皆様役に役立てていただけるよう、随時更新をしております。是非閲覧いただきご利用ください。

お気づきの点等ございましたら、ガバナー事務所までお知らせください。

URL <http://www.rid2600.jp.com>

■ロータリーの友について

☆『ロータリーの友』は、国際ロータリー (RI) の認可を受け、ロータリー・ワールド・マガジン・プレス (『THE ROTARIAN』とロータリー地域雑誌の総称) の一員として発行されているロータリーの地域雑誌です。

ロータリーを語る時、ロータリーを思う時、私たちの心の中には各人にとってのロータリーが広がっているはずです。一人ひとりの読み手の生き方によって読み方が異なるとよいと思います。なぜ『友』を読むのか、の答えの一つがそんなところにもあるように思います。ガバナー月信と同じく毎月発刊されておりますので、是非お読み下さい。

グループ	クラブ名	2月出席率 (%)	2013 年	2014 年	増減
			7/1会員数	2月末会員数	
東信第一	千 曲 川	100.00	21 (1)	21 (1)	0 (0)
	軽 井 沢	64.87	35 (1)	38 (1)	3 (0)
	小 諸 諸	88.44	34 (4)	36 (4)	2 (0)
	小 諸 浅 間	84.79	24 (0)	24 (0)	0 (0)
	南 佐 久	91.22	19 (0)	19 (0)	0 (0)
	佐 久	92.60	38 (1)	39 (1)	1 (0)
	佐久コスモス	79.00	52 (8)	54 (8)	2 (0)
	蓼 科	71.43	13 (0)	14 (0)	1 (0)
東信第二	8 クラ ブ	84.04	236 (15)	245 (15)	9 (0)
	丸 子	87.00	27 (4)	29 (5)	2 (1)
	東 御	79.98	24 (7)	25 (7)	1 (0)
	上 田	87.95	57 (0)	57 (0)	0 (0)
	上 田 東	85.58	61 (3)	63 (3)	2 (0)
	上 田 西	78.38	48 (0)	48 (0)	0 (0)
	上田六文銭	88.20	28 (2)	27 (2)	-1 (0)
	6 クラ ブ	84.52	245 (16)	249 (17)	4 (1)
北信第一	更 埴	84.70	28 (0)	29 (0)	1 (0)
	長 野	91.61	107 (2)	112 (2)	5 (0)
	長 野 南	85.00	32 (2)	37 (2)	5 (0)
	長 野 西	90.48	54 (0)	55 (0)	1 (0)
	須 坂	74.58	31 (3)	33 (3)	2 (0)
	須 坂 五 岳	86.06	21 (0)	21 (0)	0 (0)
	戸倉上山田	84.93	22 (0)	22 (0)	0 (0)
	7 クラ ブ	85.34	295 (7)	309 (7)	14 (0)
北信第二	みゆき野飯山	100.00	10 (0)	11 (1)	1 (1)
	長 野 東	67.58	58 (0)	62 (0)	4 (0)
	長 野 北 東	89.77	49 (3)	50 (3)	1 (0)
	長 野 北	84.64	58 (0)	61 (0)	3 (0)
	中 野	88.89	18 (1)	19 (1)	1 (0)
	5 クラ ブ	86.18	193 (4)	203 (5)	10 (1)
	あづみ野	89.81	39 (3)	40 (3)	1 (0)
	白 馬	86.00	17 (1)	17 (1)	0 (0)
中信第一	松 本	80.10	46 (1)	49 (1)	3 (0)
	松 本 東	96.62	36 (1)	38 (1)	2 (0)
	松 本 城	85.58	21 (2)	22 (2)	1 (0)
	大 町	96.06	18 (0)	19 (0)	1 (0)
	6 クラ ブ	89.03	177 (8)	185 (8)	8 (0)
	木 曾	79.94	22 (2)	21 (2)	-1 (0)
	松 本 空 港	91.80	59 (4)	58 (4)	-1 (0)
	松 本 南	95.69	50 (1)	52 (1)	2 (0)
中信第二	松 本 西 南	91.18	38 (1)	38 (1)	0 (0)
	塩 尻	96.31	23 (1)	21 (1)	-2 (0)
	塩 尻 北	100.00	7 (1)	7 (1)	0 (0)
	6 クラ ブ	92.49	199 (10)	197 (10)	-2 (0)
	茅 野	84.50	53 (0)	53 (0)	0 (0)
	富 士 見	69.70	20 (1)	21 (2)	1 (1)
	岡 谷	90.34	45 (2)	44 (2)	-1 (0)
	岡谷エコー	82.26	43 (0)	47 (0)	4 (0)
諏訪	諏 訪	89.84	42 (0)	44 (0)	2 (0)
	諏 訪 湖	92.70	33 (1)	37 (2)	4 (1)
	諏 訪 大 社	84.00	38 (0)	37 (0)	-1 (0)
	7 クラ ブ	84.76	274 (4)	283 (6)	9 (2)
	伊 那	95.73	55 (1)	59 (2)	4 (1)
	伊 那 中 央	89.76	31 (1)	36 (1)	5 (0)
	駒 ヶ 根	78.77	43 (1)	41 (1)	-2 (0)
	箕 輪	61.40	15 (1)	19 (1)	4 (0)
上伊那	辰 野	78.16	28 (1)	28 (1)	0 (0)
	5 クラ ブ	80.76	172 (5)	183 (6)	11 (1)
	飯 田	97.20	35 (0)	36 (0)	1 (0)
	飯 田 東	100.00	22 (3)	20 (3)	-2 (0)
	飯 田 南	95.30	68 (0)	70 (0)	2 (0)
	松 川	92.85	17 (0)	17 (0)	0 (0)
	天 竜 川	96.00	32 (2)	32 (2)	0 (0)
	5 クラ ブ	96.27	174 (5)	175 (5)	1 (0)
計	55 クラ ブ	87.04	1965 (74)	2029 (79)	64 (5)